

4/10に「第9回きずなセット提供プロジェクト」を実施した。泉が丘支所で、コロナ禍の影響を受けて困っている人を対象に、150セットの食品提供・生活相談受付・生理用品の無償配布を行った。

今回生理用品の配布にふみきったのは、3月に「生理の貧困」についての報道があったからだ。生理用品を買えずに交換頻度を低くしたり、他の物で代用したりという学生が2割も

FB通信

うつのみや



(14) -2021/4/25- //2019年1月15日創刊//

NPO法人フードバンクうつのみや

TEL 028-348-3412 URL <https://fbu2189.org>

FAX 028-623-6036 栃木県宇都宮市塙田 2-5-1 共生ビル 1階



“生理の貧困”

フードバンクでもやれることはやろう！

伊東 由晃 (事務局長)

いるという。内容を見て驚愕した。

私たちは「フードバンク活動」をしている団体であり、支援の軸となるのは食品。日用品を取り扱っていないものだろうか…。次の週のフードバンク会議で議題として提案してみたところ、参加メンバーは「やれることはやろう！」と言ってくれた。

早速、以前のきずなセット配布会で生活相談を手伝ってくれた済生会宇都宮病院に連絡して協力を仰ぐと共に、団体 SNS で生理用品寄付の呼びかけを行った。その結果、企業や個人から段ボール 18 箱分の生理用品の寄付をいただき、配布会当日は「お好きなだけお持ち帰りください」という体制を作ることができた。



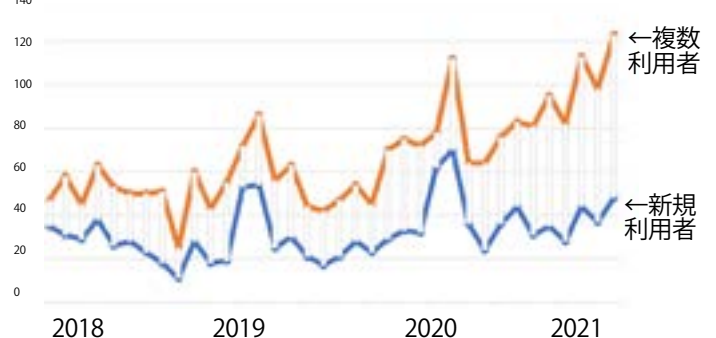
◀食品配布とは別の場所で、生理用品を配布。「節約しているのだからありがたい」と喜ばれました。

今年度もコロナ禍の影響を受けて活動が難しい状況であることに変わりはないだろう。食に困る人が少しでも減るように、生活の再建に向けた支援活動を継続していかなくてはならない。

引き続き、活動費や食品の寄付、会員入会、ボランティア活動への参加など、支援・応援をよろしくお願いたします。

1度の利用では立ち直れない。

月別 FB 利用 (相談) 者数 (2018/4~2021/3)



2018～2020年度の月別「複数回フードバンクを利用した」人は上、「初めてフードバンクを利用した」人は下の折れ線です。3年間で新規利用者はほぼ横ばいですが、複数利用者は右肩上がりです。つまり、1度の食品支援では生活が立ち直らなくなっています。また、毎年5月頃は利用者が多くなる傾向があります。

今月のSOS

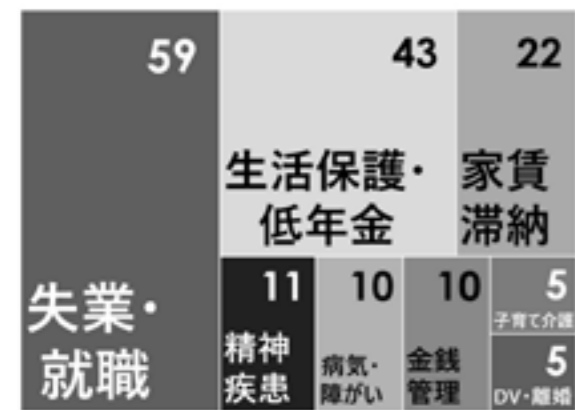
FB 相談世帯数 (食品提供回数)

2月 37 世帯 (支援 157 回)

3月 46 世帯 (支援 190 回)

※福祉施設等への食品提供も含む

FB 主な利用理由(2021/2-2021/3)* 複数回答・総数 83 人



今月のSOSの一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して掲載。

2月 37 世帯 (複数支援 62 回)

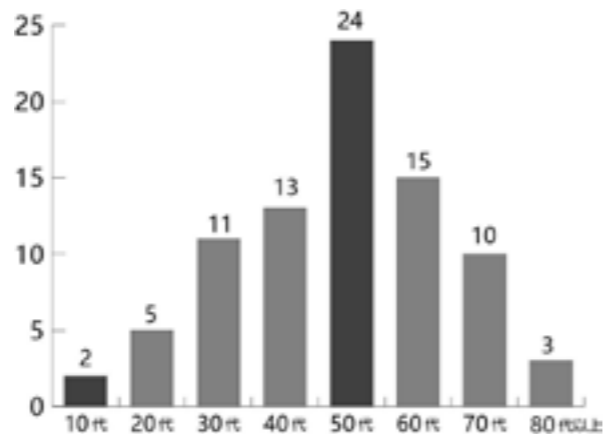
- 2/1 ● SP 男 20 代・宇都宮。大田原の専門学校に通学。コロナの影響でアルバイトを解雇された。現在就職活動中。家賃3か月分滞納。社協の総合支援資金が終了し、再申請する。⇒米 10kg 5kg 支援。
- 2/4 ● GT 男 60 代・宇都宮。土木作業を2年前より勤務。転んで怪我をしたため

仕事ができない。預金があるため申請認められず。会社の寮に住んでいるため追い出されるかも。⇒調理不要の食品 30 kg 支援。

2/10 ● KK 女 30 代・宇都宮。DV を受けて避難中。1 年前から女性相談所に相談している。生活保護申請し、受給待ち。小4の長男に発達障害があり、就労が難しいので無職。⇒米 10kg 食品 10kg 支援。

2/18 ● YY 男 20 代・宇都宮。専門学校で卒業見込みだが就職先が決まっていない。家賃 4 万円。配達などのアルバイトで生活している。⇒米 3 kg 食品 4 kg 支援。

FB 年代別 相談者数 (2021/2-2021/3)



50代、60代の相談者が多いです。

10代の相談者もいました。

- 2/26 ● KT 女 40 代・宇都宮。高齢の母親が同居し世帯収入が保護基準を超えてしまった。そのため昨年5月生保停止となる。家族が精神疾患(うつ)を持ち16歳長男は肢体不自由児。電気代が6万円。家計が破綻している。⇒米 40 kg 食品 28 kg 支援。
- 2/27 ● HT 男 10 代・宇都宮。父が逮捕され、面会でできていないので児童手当などお金が手元に来ない。父のパートナーには食事のこと頼みづらい。父は職場トラブルで仕事辞めている。⇒米 10kg 食品 18kg 支援。

3月 46 世帯 (複数支援 56 回)

- 3/5 ● HM 男 70 代・宇都宮。10 年前、両親の介護のため退職。4 年前に両親なくなり独居。年金 9 万円/月。シルバー人材センター登録にて仕事をしていたが膝を怪我してから仕事見つからず。医療費等の出費が嵩み困窮。⇒米 3 kg 食品 5 kg 支援。
- 3/11 ● TS 女 40 代・宇都宮。「死にたい」と、無料電話相談に電話をかけ、自立相談支援機関を紹介された。本人は無職、知的障害の中2の子どもの面倒があり働けない。夫は日雇い日給 7000 円、月額 19 万円程度。家賃を 30 万円滞納している。子の通院や受診代に費用がかかっている。⇒米 8 kg 食品 5 kg 支援。
- 3/12 ● TY 女 30 代・宇都宮。精神疾患(双極性障害)で自宅療養していた。昨年

FBでたすかりました

力を貸してくれる人がいて、少し希望がみえた。 新藤あきらさん (仮名: 55 歳 / 宇都宮)

低所得ながら、建設の一人親方で自営業を続けてきました。コロナ禍の影響や、私自身、東日本大震災の時にケガをして足が不自由なこともあり、仕事の依頼は減る一方。私は重機の運転手なので足が不自由でも仕事はできるのですが…とても残念です。

食に困り、FB を利用しました。生活保護を受けずに生活する選択をしたいのですが、食品をもらうときに相談員に「一時的に生活保護を受けてみれば」という助言を受け、生活保護の申請を同行してもらうことにしました。一人ではどうしてよいかかわからず、悶々としていましたが、私に力を貸してくれる人がいることに少しながら希望を見ることができました。少し元気が出たので、せっかく同行支援をしてもらいましたが、生活保護を受けず仕事を探して生きる決断をしました。現在は仕事をして生活しています。



SOS の途中

働く(家から外に出る)喜び 20 年来自宅引きこもり

川口 宏さん (仮名 54 歳)

◆高齢の父に面倒を見てもらっていたが 50 歳の川口さんは、54 歳の兄と 2 人暮らし。社会福祉協議会に相談し、FB を紹介された。

それまで、困窮者自立支援制度を利用しながら、80 歳代の義父が生活の面倒を見てくれた。しかし、3 年前に高齢のため施設に入らざるを得なくなり、息子 2 人の支援を続けることができなくなってしまった。社協の勤めもあり生活保護を利用していた。なかなか仕事に就けなかった兄は、就職活動を行い、常勤並の配達の仕事に就くことができた。その収入額が保護基準を上回ってきたため、1 年 3 か月間受給していた生活保護を脱却できた。

◆人間関係うまくいかず 20 年引きこもり

川口さんは、20 年来引きこもりの生活を続けている。療育手帳を持ちながら学校を卒業後、仕事に就くことができた。しかし、職場の人間関係が上手く行かず、次第に引きこもりとなってしまった。現在も相変わらず、自宅から出ることができなかった。食事は、兄から月初めに渡される食費 1 万円で食べていた(兄は仕事があるため食事は別々)。

コロナ禍の影響で兄の仕事量が激減したため、川口さんに手渡される食費も、当然ながら微々たる額となった。満足に栄養を摂ることが難しくなり、困窮者自立支援相談事業の支援員に連れられて、2020 年秋に FB を訪れた。その時の川口さんはうつむいて足元を見つめたまま、私の話に「ハイ」と小声で応えるのみだった。

◆フードバンクは「生活再建まで」。長期化することも。

フードバンクの支援は、ある程度の生活再建の糸口が見出されるまでの間続



小澤勇治 ● 本会職員

けられることが多い。うつ状態を発症した二宮さんまでにはいかないと思われたが、川口さんの利用も長期にならざるを得ないと考えていた。

◆働くことで生き生きとしてきた

川口さんの FB 利用は 12 月以降月 1 回になった。就労系の障害者福祉サービスを利用し、週 1 回、施設の清掃の作業を始められるようになった。当初は、家に引きこもり、兄の発する命令形の言葉へのストレスを抱えていた様子であったが、FB に来所し我々と会話する姿は、明るく生き生きとしていた。1 月に入り週 3 回に清掃の仕事が増え、「施設の人みんなが声をかけてくれるようになった」。4 月からは「仕事の報酬が無償から有償にステップアップされるようだ」「自転車で 50 分かけて通っている。日焼けして顔が黒くなった。少し太った」と話してくれた。就労継続支援 B 型事業所での就労訓練(体験)が川口さんに生活力を与え始めてくれたようだった。

* 就労継続支援 B 型事業……障害者総合支援法における就労系の障害福祉サービスの一つ。比較的簡単な作業を短時間から行うことができる。事業所と雇用契約は結ばなくてよいため賃金ではなく「工賃」が成功報酬として支払われる。なお、「難病」や「年齢」などの条件によっては障害者手帳を所持していなくても事業所を利用できる。なお、事業所と雇用契約を結び「賃金」が支払われる就労継続支援 A 型事業もある。FB 利用者の中にはこの 2 つどちらかの事業所に通っている人もよく見かける。

- 12 月より A 型就労事業所で働く。慣れない仕事なので身体への負担が大きく体調を崩し休むことも多いため収入が増えていない。⇒米 3 kg 食品 3 kg 支援。
- 3/16 ● NT 男 80 代以上・宇都宮。20 年前に脳梗塞発症し左半身麻痺。離婚後、パチンコでお金を使い果し手持ち金が 90 円で食品が買えない。企業年金含め月 13 万円の年金受給している。⇒食品 3 kg 支援。
- 3/16 ● KD 女 60 代・宇都宮。昨年 2 月までパート就労し、定年で辞めた。パニック障害や腰の痛みで仕事に就けないでいる。86 歳の母親と 2 人暮らしで、母親と本人の年金合計 9 万円/月。消費者金融から 150 万円、友人から 30 万円の借金がある。⇒米 5 kg 食品 5 kg 支援。
- 3/18 ● ST 男 50 代・宇都宮。現在失業中。

- アルコール依存の様子。食べることもままならない状態。調理器具もない様子。⇒缶詰パン、飲み物など 5 kg 支援。
- 3/18 ● YT 女 50 代・宇都宮。夫婦ともに無職で 2 年間仕事もみつからず困窮。生活保護の受給までつなぎの食品欲しい。25 年来日本で生活しているが日本語の理解ほとんど無い。義理の姉が通訳として同行する。⇒米 5 kg 食品 9 kg 野菜 1 kg 支援。
- 3/19 ● YT 男 70 代・宇都宮。母親の介護をしていたが逝去し、その後独居。持家のためリバースモーゲージを検討していたが上手くいかず社協に相談。病院で透析のため通院中。週明け生保申請相談の予定。⇒米 2 kg 食品 2 kg 支援。
- 3/30 ● TS 女 20 代・宇都宮。10 代の頃から生活保護を受けている。その頃から若者

- 支援団体の支援を受けてきた。しかしその支援者とトラブルになり、縁は切れている状態。発達障害で自分のことを上手く説明できない。⇒米 3 kg 食品 4 kg 支援。
- 3/30 ● WT 男 40 代・宇都宮。夫婦で病気を持っており、働けなくなった。3 月に生活保護を受給できたが、携帯料金滞納分を支払ったら食費に回すお金が無くなった。⇒米 5 kg 食品 5 kg 支援。
- 3/31 ● WT 女 70 代・宇都宮。夫婦共働きで生活をしてきた。2 人とも定年退職し、年金のみの収入となったが、息子が働きたので年金と息子の収入で暮らしていた。しかし、息子がコロナ禍で仕事を失ってしまい、困窮状態。生活保護受給までのつなぎで食品が欲しい。⇒米 5kg もち米 1kg 食品 7kg 支援。

フードバンク応援団！

このコーナーでは、フードバンクの団体会員に入会していただいた企業・団体を紹介します。

分野の垣根を超えた支援を、ともに。



医療 財団 済生会宇都宮病院

医療ソーシャルワーカー 稲見一美さん

1942(昭和17)年に開院し79年目を迎える当院は、栃木県救命救急センターとしての役割をはじめとした、地域における救急医療・高度医療を担う基幹病院です。明治天皇の「済生勅語」の精神に基づき、生活困窮者支援にも積極的に取り組んでいます。FB うつのみやには、食料品・生理用品などの寄付や、食品配布会時の生活相談対応としてソーシャルワーカーが参加することでともに活動し



ています。

コロナ禍で孤立や貧困の問題は更に深刻化し、複雑化しています。解決に向けては重層的関わりが必要ですが、それには人と人との繋がりがあってこそだと痛感しています。当院は、医療という分野だけに捉われず、垣根を超えた活動を進め、人と人との繋がりを保ち続けていけていくことで、生活困窮の方を支援していきたいと思っています。

●食品配布会などでお世話になっております。今後も連携して民間主導の事業を展開し行政も巻き込んでいければと思います。(伊東)

泉が丘支所の改修中。ワクワクするスペースに！

伊藤 和樹
(宇大2年・10代)

宇都宮大学2年です。現在、泉が丘おたすけ隊のリーダーをしています。昨年の12月、県内で活躍する地域づくり団体の活動を体験する企画でFBを知り、そこからボランティアをしています。



▲伊藤さん(右)。仲良しの相棒と。

食品管理やフードドライブ、食品回収、3月からは泉が丘FB支所の片付け・改修の活動を始めました。大学では建築を学んでいるので、建物の改修はおもしろく感じています。いろいろな活動に参加したり、幅広い年齢の方と関わったりなど、とても楽しいです！

これからは、泉が丘支所の2階が「ワクワクするスペース」になるように活動していきます。泉が丘おたすけ隊のTwitterも日々更新中です。ぜひご覧ください。(Twitterはこちら⇒@zumigaoka345)



*5月からの開所 ⇒火・金・土 12～16時

- ①食品提供
- ②食品寄贈の受付
- ③ボランティア募集

住所：宇都宮市泉が丘3-4-5

◆特に募集中！◆
-おたすけ隊メンバー
-相談ボランティア

会員・寄付者

ありがとうございます♡



3/31現在：正会員26人、賛助56人、団体5、学生サポ2人

《2～3月の新入会員》※敬称略

- 正会員/ 麦倉泰子, 荒川寛, 赤堀和彦, 岩崎幸子
- 賛助会員/ 伊藤和樹, 本橋隆史, NPO法人のぞみ会, 宮村尚, 須永一子, 大木本舞, 木下洋, 佐々木信嘉, 佐藤るり子, 山崎寛子, 村田恵子, 片嶋春恵, 林俊夫, 市岡淑子, 赤尾美知子, 須黒雪枝, 葭田真彦, 藤井素子, 荻津守, 境京子, 武井大, 小川恵, 早瀬直美, 我妻英司, 菊池房子, 広沢敬行, 小牧一哉, 清水美代子, 生野裕子, 斉藤真一, 林紀尚, 宮坂千優, 若色美佐子, 小林淳子, 松江比佐子, 竹内美由紀, 梅宮千恵子, 伏木淑乃, 福田容子, 坂本佳代, 枝野啓子, 横井裕美, 増淵朝子, 平尾洋子, 澤根千晴, 人見智子, 小椋山悦子, 中村悦子, 保坂利佳子, 山上昇太, 中里勝夫, 田島敦志, 靖龍太郎
- 団体会員/NPO法人まわた, 児童自立援助ホームしもつけ
- 《2～3月の寄付者》※敬称略 並木孝夫, 八洋, 恵光寺, 飯塚真弘, 寺内明子, 岩崎典子, 麦倉泰子, 渡辺学, 片嶋春恵, 小林良行, 伊藤光子, 中村絹江, 矢野正広, 矢野永春, 赤尾美知子, 塚本明子, 須黒雪枝, 小林香織, 佐野日本大学高校2年2組, 鎌田爾少, 宮坂真耶, 萩庭直良, 平尾洋子, 栃木県民共済

「もったいない」を「ありがとう」に。
会員を大募集中！
ボランティアも

◆会費(年間)
◎正会員 12,000円
◎賛助会員 3,000円
◎団体会員 30,000円
◎学生サポーター 1,000円

会費・寄付はこちら
※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行
栃木銀行馬場町支店 普通1086399
名義/特定非営利活動法人フードバンクうつのみや 理事徳山篤
※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局
宇都宮 00260-2-90882
特定非営利活動法人フードバンクうつのみや

■Webサイトから
クレジットカードでの
ご寄付もできます。



HP



Twitter